

Syllabus Id	syl.-092015
Subject Id	sub-092007800
更新履歴	20090327新規
授業科目名	日本事情
担当教員名	野澤正信
対象クラス	4年留学生
単位数	2履修単位
必修 / 選択	選択
開講時期	H21通年
授業区分	人文・社会科学・語学等
授業形態	講義
実施場所	共通棟2F留学生演習室

### 授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

この教科の目的は、留学生が円滑な日常生活を送り、卒業後には日本において十分活躍できるように日本の社会と文化に関する基礎的な知識を身につけさせることである。授業は、指名された学生が選択テーマについてネットや図書館を利用して情報を集め作文を作り口頭発表と討論をすることによって進める。テーマは日本の伝統文化から現代社会まで幅広い問題の中から選定する。必要に応じて日本の文化や日本語による表現法について解説する。

### 準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

日本語

	Weight	目標	説明
学習・教育目標		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
		D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成

### 学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を目標達成度試験(レポート)をもって行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

### 授業目標

与えられたテーマの理解に必要な情報を適切に集められる  
 収集した情報を利用して、与えられたテーマに関する日本語の作文ができる  
 他の学生の日本語による発表を聞いて理解し議論することができる。  
 日本の社会と文化について基本的なことがら理解できる

**授業計画**(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	前期オリエンテーション	前期ガイダンスと発表テーマ解説	
第2回		テーマ1の口頭発表と討論	
第3回		テーマ1の作文発表と内容の検討	
第4回		テーマ2の口頭発表と討論	
第5回		テーマ2の作文発表と内容の検討	
第6回		テーマ3の口頭発表と討論	
第7回		テーマ3の作文発表と内容の検討	
第8回		テーマ4の口頭発表と討論	
第9回		テーマ4の作文発表と内容の検討	
第10回		テーマ5の口頭発表と討論	
第11回		テーマ5の作文発表と内容の検討	
第12回		テーマ6の口頭発表と討論	
第13回		テーマ6の作文発表と内容の検討	
第14回		テーマ7の口頭発表と討論	
第15回		テーマ7の作文発表と内容の検討	
第16回	後期オリエンテーション	前期ガイダンスと発表テーマ解説	

第17回		テーマ1の口頭発表と討論	
第18回		テーマ1の作文発表と内容の検討	
第19回		テーマ2の口頭発表と討論	
第20回		テーマ2の作文発表と内容の検討	
第21回		テーマ3の口頭発表と討論	
第22回		テーマ3の作文発表と内容の検討	
第23回		テーマ4の口頭発表と討論	
第24回		テーマ4の作文発表と内容の検討	
第25回		テーマ5の口頭発表と討論	
第26回		テーマ5の作文発表と内容の検討	
第27回		テーマ6の口頭発表と討論	
第28回		テーマ6の作文発表と内容の検討	
第29回		テーマ7の口頭発表と討論	
第30回		テーマ7の作文発表と内容の検討	

### 課題

発表するレポートはE-learning「日本事情」の掲示板に載せる。

### 評価方法と基準

#### 評価方法:

授業内でのプレゼンテーション、及びレポートによる評価。

#### 評価基準:

100点満点で、プレゼンテーションの内容と日本語表現力の評価が50%、作文の内容と日本語表現力の評価が50% 60点以上を合格とする。

### 教科書等

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

### 先修科目

### 関連サイトのURL

<http://blackb.numazu-ct.ac.jp/webapps/login/> (E-learning System, Blackborad)  
<http://user.numazu-ct.ac.jp/~nozawa/nozawahp.htm> (沼津高専・教養科・哲学)

### 授業アンケートへの対応

### 備考

1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。  
2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。